

△産業宣教 産業人の集まり(使 2:9-11)	△レムナント伝道学 私に御座化(使 27:24)	△核心 福音のために(マタ 24:1-14)	△散らされた弟子たち 誤った弟子、正しい弟子(使 11:1-30)															
<p>□序論 産業人が教会と産業、現場(伝道)で実際の状況に会うが、いつでも全体のことを先に見てこそ、私が持っている小さいことが必要になる。そうでなければ、障害物になる。何を見るべきなのか</p> <p>1. 三つの国(世の国、サタンの国、神の国)</p> <p>2. 7大旅程(すべてのこと)定刻祈りを通して見つけ出さなければならず、みことばによって答えを見つければ、ものすごいことが起こる。</p> <p>3. 伝道現場でも、ただ、唯一性、再創造が見えてシステムになる。</p> <p>□本論_どんな答えなのか</p> <p>1. 当然、必然、絶対の答えを見たこと(重要な道)</p> <p>△問題が来たとき、神様が答えられるために来るものが来たこと。ここに私を重職者として立てたことは必然的なこと。このときに来るものが絶対</p> <p>1) 出 3:18 エジプト捕虜の時</p> <p>2) イザ 7:14 捕虜になった時</p> <p>3) マタ 16:16 属国になった時</p> <p>△結論的に、福音がないということだ。</p> <p>2. 誰も分らない集まりが起り始める(重要な力)</p> <p>1) 過越祭(運命が変わる)</p> <p>2) 五旬節(どんな状況にも勝つ) 3) 仮庵祭(背景)</p> <p>△重職者は、必ずこの祝福を味わわなければならない。みなさんが産業人であり重要な宣教を果たす位置の人だ。</p> <p>3. 備えられた産業人が集まり始める</p> <p>1) 使 1:1-8 確実な契約を持って集まり+備えられた産業人を付けられる</p> <p>2) 使 1:14 確実な契約を握った後、集まる</p> <p>3) 使 2:9-11 神様が備え</p> <p>□結論</p> <p>1. 問題に会った人々 2. 病気の人々</p> <p>3. 事故(危機)に会った人々</p> <p>△重職者が、教会や現場で会うようになる人々に伝えること</p> <p>福音(根源的なこと)</p> <p>うつ病(精神病) - 24 システムが必要だ。</p> <p>△この人は脳に問題が来たのだ。その人に一番最初に話すことは「ゆっくり平安になるように呼吸しなさい」それから始めなければならない。それ自身が祈りになるので、これだけ試みてもいやしになり始める。はやく解決しようとせずに、根源をいやさなければならない。それで結論は、重職者の方が一番持たなければならないことが、メッセージ全体祝福を味わう祈りだ。この契約を握れば明日の礼拝が確かに変わる。</p>	<p>△神様は私たちに御座の祝福を与えようと言われた。</p> <p>□序論 神の国: 礼拝、祈るときに神の国が成り立つ。</p> <p>体質-資料(刻印、根)</p> <p>△レムナントは今、世界福音化する体質を今作っている最中。一番重要なのが資料、多くの資料を見るとき、刻印、根、体質になる</p> <p>1. みことば編集-資料をみことばで編集しなさい。</p> <p>2. 祈り設計-資料を祈りをもって味わうべき</p> <p>3. 証拠デザイン-伝道すべきなので、証拠をすることができることとしてデザインすべき</p> <p>□本論</p> <p>1. 私を御座化</p> <p>1) 過去-土台(踏み石)過去はレムナントの土台であり踏み石</p> <p>2) 現在-答え(神の国)今日が答え、神の国が成り立つ時間</p> <p>3) 未来-改革(Re-formation)未来はみなさんを通して変えようとする、改革はレムナントを通して、失われた、本来のことを取り戻すこと</p> <p>2. 現場御座化(未来)既成世代が、現場で専門家が見られないことを見るように。</p> <p>1) 創 37:11 ヨセフ 2) 出 2:1-16 モーセ</p> <p>3) 1 サム 2:1-10 ハンナ-サムエル</p> <p>4) 1 サム 16:1-13 ダビデ</p> <p>5) 1 列 19:19-21 エリシャ</p> <p>3. 世界御座化(指導者)</p> <p>1) 7 わざわい 7 つの時代のわざわいを防いだ。</p> <p>2) RT 主役 レムナントが主役になるとき世界化したのだ。</p> <p>3) 世界福音化は必ずくる。</p> <p>□結論_霊的世界 霊の世界をネフィリム、憑依運動団体に奪われた。教会、多くの重職者が肉の世界だけ分かる。レムナントは霊的世界を信じて作品を作るべき。私を御座化させれば、みなついてくる。</p>	<p>伝道弟子は福音のために生きるしもべだ。福音が宣べ伝えられた後に終わりが来ると言われた。</p> <table border="1" data-bbox="936 268 1603 691"> <tr><td>24(力) - 24 神様から与えられる力を味わうべき</td></tr> <tr><td>25(国) - 必ず来る神の国</td></tr> <tr><td>永遠(世界) - 永遠という契約を握ることによって世界福音化可能</td></tr> <tr><td>朝(力、御座) - 神様から与えられる力を受けて御座の祝福を味わう</td></tr> <tr><td>すべて(意味) - すべてを祈りにつなげて、意味を見つける祈り</td></tr> <tr><td>集中(3 団体、宗教) - 3 団体とすべての宗教を超える深い祈り</td></tr> <tr><td>連続 - 意識して吸い込む息と吐き出す息を連続する</td></tr> <tr><td>丹田 - 屋には丹田に力がたくさん入る呼吸</td></tr> <tr><td>深く - 夜にはとても安らかでやわらかくて深く</td></tr> <tr><td>プラットフォーム - 御座の祝福を味わう私</td></tr> <tr><td>見張り人 - どこでも祈りが成り立つ見張り人の祈りになること</td></tr> <tr><td>アンテナ(疎通) - 常に神様と霊的疎通を味わうべき</td></tr> <tr><td>御座 - 福音をそのまま味わう祈り</td></tr> <tr><td>タラッパン - 現場で福音をずっと味わう見張り人の役割をすること</td></tr> <tr><td>アンテオケ - 答えを与えて全世界に出て行くアンテナを続けて置くこと</td></tr> </table> <p>△祈りで御座の祝福を味わって、呼吸ですべての健康を回復して出て行かなければならない。</p> <p>□序論</p> <p>1. 世の中-力になることがなくて混乱に陥らせる</p> <p>1) 世界史、教会史、哲学史の勉強はすべきだが、答えではないので、みな超越しなければならない。</p> <p>2) 世界観が揺れる。</p> <p>3) サタンの 12 の流れに従って行きつづめる。</p> <p>2. 見張り場(やぐら) (雅 4:4) - プラットフォーム、見張り台、アンテナがあることで、実際の見張り場(やぐら)は祈りだ。</p> <p>3. この祈りを味わう人々が教会に礼拝しに来れば、答えを受けて出て行ってそのメッセージを握ってこれ(表)をずっと味わうようになる。</p> <p>□本論</p> <p>1. だまされてはならない-みなさんは伝道者で、答えをみな受けたので過去、現在、未来にだまされてはならない。</p> <p>1) わざわいを止める力を神様が与えられる 2) 続く問題</p> <p>3) このとき、私たちは神様が与えられる方向へ行くこと</p> <p>2. 伝道者が今、従って行かなければならない道</p> <p>1) 使 13:1-4 伝道よりさらに重要なのは聖霊に導かれるための祈り</p> <p>2) 使 16:6-10 門が開められれば大きいターニングポイントを迎えた</p> <p>3) 使 19:1-7 大変なことを控えてこれを(表)回復</p> <p>3. 未来について行かなければならない道</p> <p>1) 使 19:21 ローマ 2) 使 23:11 ローマ 3) 使 27:24 カイザルの前に</p> <p>□結論- 23] - 24 [いやし] - 24 [サミット] - 24</p> <p>△この祈り(表)をして、すべてを回復させて、真の力を得なければならない。みなさんは伝道者だ。みなさんの下に育つ人々は、すべて伝道弟子だ。</p>	24(力) - 24 神様から与えられる力を味わうべき	25(国) - 必ず来る神の国	永遠(世界) - 永遠という契約を握ることによって世界福音化可能	朝(力、御座) - 神様から与えられる力を受けて御座の祝福を味わう	すべて(意味) - すべてを祈りにつなげて、意味を見つける祈り	集中(3 団体、宗教) - 3 団体とすべての宗教を超える深い祈り	連続 - 意識して吸い込む息と吐き出す息を連続する	丹田 - 屋には丹田に力がたくさん入る呼吸	深く - 夜にはとても安らかでやわらかくて深く	プラットフォーム - 御座の祝福を味わう私	見張り人 - どこでも祈りが成り立つ見張り人の祈りになること	アンテナ(疎通) - 常に神様と霊的疎通を味わうべき	御座 - 福音をそのまま味わう祈り	タラッパン - 現場で福音をずっと味わう見張り人の役割をすること	アンテオケ - 答えを与えて全世界に出て行くアンテナを続けて置くこと	<p>□序論 散らされた弟子たちは、何からしなければならぬのか 使 11:1-30 「散らされた者たち」 二種類の弟子。コルネリオの家の食事を非難した弟子、アンテオケ教会をたてた「散らされた者」</p> <p>個人化 多民族伝道するとき、最も重要な部分</p> <p>□本論</p> <p>1. 一般</p> <p>1) 難民 2) 脱北者</p> <p>3) 不法滞留者</p> <p>トラウマ(傷)隠されたトラウマ(傷)をいやしてあげるべき</p> <p>2. 分別</p> <p>1) 残りの者 2) ケアが必要な者 3) 弟子</p> <p>動機(変えるべき)別して、弟子と残りの者の動機を変えるべき</p> <p>3. 使命(者)</p> <p>「この人が使命者だ」というときは使命を植えるべき</p> <p>1) 使 13:1-4</p> <p>2) 使 16:6-10</p> <p>3) 使 19:1-7</p> <p>3・9・3 /すべての回復 3・9・3 にすべての回復がみな入っている。</p> <p>□結論</p> <p>1. 公生涯 イエス様が公生涯で渡された答え。十字架では「完了した」終わらせた</p> <p>2. 始まり(カル、オリ、マル)終わらせた後に始まったのが、カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間</p> <p>3. 理由(結論)散らされた理由を説明すべき。これが迫害に見えるが、完全に結論を話すこと</p>
24(力) - 24 神様から与えられる力を味わうべき																		
25(国) - 必ず来る神の国																		
永遠(世界) - 永遠という契約を握ることによって世界福音化可能																		
朝(力、御座) - 神様から与えられる力を受けて御座の祝福を味わう																		
すべて(意味) - すべてを祈りにつなげて、意味を見つける祈り																		
集中(3 団体、宗教) - 3 団体とすべての宗教を超える深い祈り																		
連続 - 意識して吸い込む息と吐き出す息を連続する																		
丹田 - 屋には丹田に力がたくさん入る呼吸																		
深く - 夜にはとても安らかでやわらかくて深く																		
プラットフォーム - 御座の祝福を味わう私																		
見張り人 - どこでも祈りが成り立つ見張り人の祈りになること																		
アンテナ(疎通) - 常に神様と霊的疎通を味わうべき																		
御座 - 福音をそのまま味わう祈り																		
タラッパン - 現場で福音をずっと味わう見張り人の役割をすること																		
アンテオケ - 答えを与えて全世界に出て行くアンテナを続けて置くこと																		

△区域メッセージ ミツパ運動と私の 24 (I サム 7:3-17)	△聖日 1 部礼拝 安息日を犯したキリスト (ルカ 6:1-11)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 七十人を立てた理由 (ルカ 10:17-20)																		
<p>□序論_ひとりの祈り ひとりの祈りが重要だ。本日に契約と祈りを分けるならば、サムエルのように「ペリシテが問題ではない」と言ってこそ答えを受ける。ミツパ運動は何をしなければならないのかに対する答えも出る祈りだ。</p> <p>1. 基準—私たちの基準を神様に置くこと 2. 水準—私たちの力の水準も神様に置くこと 3. 標準—私たちの目標も神様に置くこと</p> <p>△「みな婦りなさい」ということは、すべての基準、水準、標準を神様に置いたのだ。このような人の祈りは必ず世界を変える。</p> <p>□本論</p> <p>1. ミツパ運動(ハンナ) <u>神様の計画</u>—ひとりの祈りを通して準備したのがミツパ運動だ。 1) 自分の目に正しいと見えること—士師記の最後に各自「自分の目に正しいと見えること」と言われている。 2) ナジル人契約—神様はナジル人契約を握ったハンナを通して、イスラエルを回復することを準備 3) イスラエル—一人だけ契約を正確に回復すれば、神様は私たちの周囲を回復</p> <p>△私と私の状態に基準、水準、標準を置くと、神様の計画を見られず揺れる。神様に基準、水準、標準を置かなければならない。</p> <p>2. サムエルを通して—神様はこの重要な祈り運動、ミツパ運動をサムエルを通して成し遂げられた。 1) 御声—幼いとき、神様の御声を聞き、祈りを分かった 2) I サム 3:19 - 「一言も地に落ちなかった」ということは、サムエルが神様の御声を聞いて、その計画の中にいたので可能 3) 民—すべての民が偶像を捨てて神様に帰るようにさせた <u>ただ</u>—ただ神様だけを見上げれば驚くべき働き、ただの働きが起こる</p> <p>3. 以降—さらに重要なのはミツパ運動以降 <u>不可能—絶対可能</u>—強くて戦争が多かったペリシテに戦わずに勝利 1) 平和—初めてイスラエルの国に平和。「サムエルが生きている間、戦争がなかった」 2) 信仰—「サムエルが生きている間、すべての民が主を信じた」 3) ダビデ—サムエルが見つけた人物がダビデ。ダビデに油をそそいで契約、契約の箱、神殿の契約を伝達。ダビデは心に入れて一生、神殿を準備</p> <p>□結論_<u>契約</u> RT7 人のように、1 人が契約を握れば、家庭、家系、教会も生かされて、現場、国、時代が生かされる。 1. 残りの者—私たちはこの祝福を味わう残りの者だ。 2. 巡礼者—私たちはこの祝福を持って全世界に向かって行く巡礼者だ。 3. 征服者—暗やみの勢力を征服しなければならない征服者だ。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 止めることができない福音—ユダヤ人、パリサイ人、律法学者、祭司長、ローマが福音を止めようとしたが完全に勝って福音化させた初代教会とパウロ</p> <p>2. 福音を分かなければ起こること—安息日に麦をもみ出していたイエスの弟子たちと、右手のなえた人をいやされたイエスを非難したパリサイ人 1) 熱心も問題になる。 2) 次世代が奴隷、捕虜、属国、流浪の民として散らされた。 3) 門を開める世界教会—違うことで熱心にはいけない。</p> <p>3. 福音—これを得ることができないので、神様がキリストを約束 1) 三位一体の神様が目に見えないように私とともにおられることを味わうこと 2) 祈るたびに御座の祝福が臨む資格を得ること 3) 過去、現在、未来の運命を完全に変える内容</p> <p>□本論_力が無いが世界を変えた初代教会が握った契約</p> <p>1. 真の安息日の完成者であるキリストが成し遂げられる絶対契約の中にいた者 (5 節)</p> <p>△現実と合わない見えるのでだまされる(荒野の道で幕屋建築、出パピロン後に神殿建築、紅海を渡りなさいという命令) 1) マタ 5:17-18 律法を完成しに来られたイエス様、みことばは全部成就 2) ヨハ 2:19-22 違うことをする異邦人の庭、レムナントの庭、祈りの庭をむち打って、この神殿を壊して三日で建てることができると言われた(復活)。 3) ヨハ 19:30 完了した。</p> <p>2. 主人が変わった者 1) 人の子は安息日の主 (5 節) —私の人生、産業、教会の主人が三位一体の神様 △私が主人になったこと—宗教、偶像神殿。 神様が主人なられること—福音、神殿 2) 主人を変えた瞬間、病氣もいやされて運命がひっくり返る(マタ 8:17、ルカ 6:10) 3) いのち運動は完全に律法運動に勝つことができる。 —制度に陥って本質、内容をのがしてしまったパリサイ人</p> <p>3. 安息日よりさらに重要な主の安息を与える方がキリストだ。 1) ヨハ 14:27 世の中が与えることではない平安を与えます。 2) マタ 11:28 疲れて、重荷を負った者—わたしがあなたがたを休ませてあげます。 3) 放蕩息子—乞食になった姿そのまま来なさい。 4) 不治の病、悪霊につかれた者をいやされたイエス様—運命を変えてしまったこと 5) ロマ 8:31-39 どんなこともキリストの中にある者を奪っていくことはできない。</p> <p>□結論</p> <p>1. 安息日を主の日に変えられた復活されたキリスト(ヨハ 20:1) —御座について私たちとともに 2. 毎日が主の日。今日は一緒に集まる主の日 3. うつ病—静かで深い時間に入って主人を変えて主人に任せなさい。</p>	<p>12 使徒、70 人を先にたてられた理由—霊的にすべての地域を見て守るため</p> <table border="1" data-bbox="1458 255 2150 367"> <tr> <td>12</td> <td>70</td> <td>70 人</td> <td colspan="3">福音(祈り)</td> </tr> <tr> <td>教区</td> <td>影響力</td> <td>土地、殉教、 アンテオケ、現地</td> <td>御座 (定刻)</td> <td>神の国 (常時)</td> <td>神の国のこと (集中祈り)</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align:center">見張り場(やぐら)</td> </tr> </table> <p>12 教区、70 影響力—主のしもべは大教区を見る祝福を与えられ、重職者は産業と地域、すべてにこの影響力を与えられた。 70 人—土地をささげた人(使 4 章)、一番最初に殉教したステパノ、迫害のときにアンテオケ教会を建てた人々、重要な現地に 70 人重職者がいた。</p> <p>福音(祈り)—福音と祈りが何か分かったのだ。同じ力であるが、御座の祝福を味わうことで(定刻)、神の国が臨むようにすることだ(常時)。神の国のことを味わうことだ(集中祈り)。</p> <p>見張り場(やぐら)—これを持って世界を生かす見張り場(やぐら)をたてたのだ △世界を征服した初代教会はこの力を持っていた。この祈りだけ続けてしなさい</p> <p>□序論_見張り場(やぐら)についての証</p> <p>1. 士 9:47 戦争から民を保護 2. II 列 9:17 民を守るやぐら 3. II 歴 14:17 町を守るためのやぐら 4. II 歴河 26:10 家畜、農業するやぐら 5. ネヘ 3:25 王宮を守るためのやぐら 6. 雅 4:4 —ダビデの一千のやぐら 7. イザ 21:8 見張り場(やぐら)を作って見張り人は夜中叫びなさい。 8. エゼ 26:9 敵を壊すやぐら 9. 箴 18:10 主の御名は堅固なやぐら</p> <p>□本論</p> <p>1. 重職者、教会—見張り場(やぐら) 1) 見張り人として呼ばれた。 2) 昼も夜も叫びなさい。昼も夜も答える。 3) 道(大路)を作る人</p> <p>2. 70 人—現場を生かす見張り場(やぐら) 1) 自ら代わりに(1 節) —イエス様が自ら行かなければならない所に代わりに送られたこと 2) 御名—宣言(18 節)—主の御名で悪霊を追い出すとき、サタンが地に落ちるのを見た。 3) 書き記されている(20 節) —ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。</p> <p>3. 237-5000 見張り場(やぐら) — 237、5000 種族を生かす見張り場(やぐら)を作る人々 1) <u>御座</u>の力(プラットフォーム)—御座の力、霊的力が来るので、人々が来るようになる。 2) <u>神の国</u>(見張り台)—すべての現場は神の国が臨むように待ちなさい。見張り台となる。 3) <u>神の国のこと</u>(アンテナ)—神の国のことに集中するのだ。神様と通じれば、できないことがない。このことをアンテナと言う。</p> <p>□結論_ <u>1 千見張り場(やぐら)</u> — <u>1 千万見張り場(やぐら)</u> — 全世界に福音が宣べ伝えられるための 1 千万見張り場(やぐら)、1 千万弟子 △神の国、御座の祝福が臨むようにずっと集中しなさい。</p>	12	70	70 人	福音(祈り)			教区	影響力	土地、殉教、 アンテオケ、現地	御座 (定刻)	神の国 (常時)	神の国のこと (集中祈り)	見張り場(やぐら)					
12	70	70 人	福音(祈り)																	
教区	影響力	土地、殉教、 アンテオケ、現地	御座 (定刻)	神の国 (常時)	神の国のこと (集中祈り)															
見張り場(やぐら)																				